

地域における公益的な取組 事例

社会福祉法人 一幸会

活動名	入浴施設の開放
活動の分類	地域の要援護者に対する資金や物資の貸付・提供
対象エリア	鶴岡市内
対象者	<input type="checkbox"/> 対象エリアの住民 <input type="checkbox"/> 子ども <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 生活困窮者 <input type="checkbox"/> 卒園生・退所者 <input type="checkbox"/> その他
頻度・日時	週2回（水・土） 16:00～17:00
活動で連携している団体等	民生児童委員
開始時期	平成17年 2月 開始
活動の概要 ※別紙添付も可	自宅に入浴できる環境がない高齢者に対して、施設の入浴施設を定期的に提供している。平成16年度より現在も継続し、利用の延べ人数は、年平均600名を超えている。
活動の背景・テーマ ※取組に至った経緯	近くにあった銭湯がなくなってしまったことにより、入浴に不便を感じていた女性高齢者がいると、鶴岡市の介護相談員より情報を受けた。法人内では、施設の機能を地域に活用されることは地域の一員の努めであると職員間の意識の共有ができた。
活動による効果・影響 ※地域の反応、職員への影響等	利用者同士、入浴前の待ち時間に談笑するなどの交流の機会となっている。また、毎回入浴に来る人が来なくなると心配し、確認し合う等連帯感が生まれ、この事業を実施することにより、地域の見守り活動にもなっている。

【公衆浴場許可証—健楽園の湯】 ↓



【浴室の様子】 ↓

